

令和5年度 前期 教育課程編成委員会

議事録

学校法人 さくら学園

慈恵歯科医療ファッション専門

日時：令和5年11月14日（火）11:15～12:15

場所：学校法人さくら学園 本部応接室

記録：山中 幸子

参加者

【外部委員】3名

浅井 章夫 様	浅井歯科医院院長
長坂 信二 様	社会福祉法人安祥福祉会 特別養護老人ホーム あんのん館・福釜 事務長
岩堀 厚司 様	株式会社 岩堀洋品店 社長

【内部委員】4名

岩瀬 せつ子	学校法人さくら学園理事長
大石 純男	慈恵歯科医療ファッション専門学校 校長
岩田 美幸	” ファッション学科 学科長
段下 靖子	” 医療事務学科 2年担任
山中 幸子	” 歯科衛生士学科 学科長

【委員会次第】

司会・進行 大石 純男

開会：大石純男委員の開会挨拶にて開会

1. 理事長挨拶（岩瀬せつ子）

学校行事、実習を充実することでメリハリをつけ、学園内部の充実、また外部にも本学園を知っていただく機会にしたい。

- ・10/28・29（土・日）に学園祭を実施
ファッション学科：ファッションショー
歯科衛生士学科：歯科健診、フッ素塗布 等
- ・歯科衛生士学科 3年生海外研修（韓国延世大学歯学部、病院での研修）
- ・ファッション学科、海外の学生が頑張っている。
- ・医療事務学科 安城更生病院等での実習を実施、成果を出している。

2. 参加者自己紹介

上記の出席者

3. 学校法人さくら学園の概要説明

- ・ 3 学科教育課程表の説明 レジメ参照
- ・ 令和 6 年度入学予定者数 (1 1 / 1 4 現在)
歯科衛生士学科 3 1 名 / 3 5 名 医療事務学科 1 2 名 / 4 0 名 ファッション学科 1 4 名 / 2 0 名
- ・ 3 学科就職内定状況 (1 1 / 1 4 現在) レジメ参照

4. 各学科の教育課程編成・外部実習等について

1) 配布資料に沿い概要・進捗状況説明 学校長 大石純男

(1) 本校の現状説明 レジメ参照

- ① 歯科衛生士学科
 - ・ H29～R4 歯科衛生士国家試験結果 全員合格
 - ・ R4 年度 就職状況
- ② 医療事務学科
 - ・ R4 年度 就職状況
- ③ ファッション学科
 - ・ R4 年度 就職状況

(2) 令和 5 年度 検定・資格取得状況

レジメ参照

2) 各学科の教育課程編成・外部実習等について

(1) 服飾・家政専門課程 ファッション学科

(学科長 岩田 美幸)

① 別表 1・2 参照

(2) 医療事務学科

(2 年担任 段下 靖子)

① 別表 3・4・5 参照

② 病院実習の概要 レジメ参照

(学校長 大石純男)

(3) 歯科衛生士学科

(学科長 山中 幸子)

① 別表 6 説明

② 臨地・臨床実習の概要 レジメ参照

(学校長 大石 純男)

臨地臨床実習施設 (8 回生)

5. 令和 4 年度 前期学校生活アンケート 要望解答一覧 (学校長 大石 純男)

- ・ 学生からの要望、意見を参考にしより良い学校生活を送れるよう対応していく。

6. 審議

浅井委員

- ・ コロナが落ち着き、学校行事などが再開実施できていることは有意義である。
また、現場実習が制限なく実施 (直接対面実習) されていることは教育形態が正常に戻った事であると認識する。
- ・ 歯科の現場では国民皆歯科健診の導入 (現在は未実施) により、口腔の機能低下 (オーラルフレイル) を防ぐ取り組みが重要視されている。口腔機能低下を防ぐ

ことで、全身の機能低下（フレイル）を防ぐ。

すなわち、要介護予防の一番の対策は口腔機能低下防止である。

学校教育においてもさらに充実させていただきたい。

- ・ 歯科衛生士不足の昨今、歯科衛生士の再就職について愛知県歯科医師会も再就職情報の窓口を設けている。

貴校も歯科衛生士学科開設10年で、離職した卒業生も出てきいと思う。

卒業生の中での再就職希望者の把握が必要になってきている。

長坂委員

- ・ マイナンバーカード保険証について、毎回提出し、入力等で大変である。
- ・ コロナ、インフルエンザの患者が増えてきていて、健康管理が大切である。
- ・ 2024年の医療・介護・障害報酬のトリプル改正は口腔衛生（口腔ケア）にポイントがある。多職種連携が大切（情報の共有）
2024年の改正は6月。改正のたびに再勉強が必要である。
- ・ 歯科衛生士学科は介護福祉士実務者研修の資格を取るとの事であれば、我々も協力できる事があれば協力をします。
- ・ 福祉から別職に変更する人もある。
海外の学生の資格取得試験の内容も検討されている。（資格が取得できれば日本に永住）

岩堀委員

- ・ 生地が海外から入ってこない。綿花・石油の高騰で調達が難しい。
学生が使用する生地の入荷が期限ギリギリになっている。
1～2年先を見越して仕入れの対応をしないと間に合わない。
- ・ 人材の高齢化により人手不足である。若い学生の適性を伸ばしてチャンスを広げる教育が必要である。工業用ミシンの使用、デザイン、技術を習得し楽しみながら仕事をしてほしい。
- ・ 洋服（縫製）だけでなく学生の個性（ネイル、アクセサリ等）を生かしたファッションもあり得る。

7. 挨拶

大石校長

- ・ 様々なご意見を頂き有難うございます。今後ともよろしくお願い致します。